

ダムなどの水源地を使った地域振興の現状

(町おこし)

ダムマニア&ダムライター
宮島 咲

地域振興

地域活性化とも言い、地域が、衰えた経済力や人々の意欲を向上させたり、人口を維持したり増やしたりするために行う諸活動。

→ **地域に人が増え、儲かること**

インフラツーリズム

橋、ダム、港などのインフラ（公共施設）を地域固有の財産と位置づけて、観光を通じた地域振興に資するインフラ活用の取組。

→ **ダムなどを見て回らせる取り組み**

インフラツアーをする者が増えれば、町おこしになるとは限らない。

その理由は、インフラ管理者と、町おこしをおこなう者の着地点が違うから。

水源地にあるもの



ダム



湖



川

近年、ダム、湖、川を観光地化するイベントが増えている。
民間が企画したり、観光協会や役所、管理者が企画しています。
数年前には国土交通省がインフラツーリズムを推し進める政策も。

水源地を使った地域振興イベント

ダム見学ツアー

宿泊を伴うツアーから日帰りツアーまで、確認できる限りでは40種類以上のツアーがある。地域のNPO主催のものや、電力会社主催のもの、旅行会社主催のものまでさまざま。

旅行会社が参入している時点で、ダムを対象としたツアーでも商売が成立するということが認識できる。

(右上) 観光協会 (右下) NPO法人 (左下) 九州電力

熊子ダム すだれ放流 直下見学ツアー

出発日: 2019年5月3日(金) 4日(土) 5日(日)

旅行代金: 2,000円(税込)

集合場所: 観光公園 (旧本こけし館) 旧さつき亭跡前

出発時間: ①9:40 ②10:30 ③11:20 ④13:30

予約申込: 0229-25-9620

主催: 一般社団法人 みやぎ大崎観光公社

九州最大のダム九州一の揚水式水力発電所送配電施設を見学!

宮崎県一ツ瀬・小丸川水系を巡る 電力インフラツアー 2日間

九州最大のアーチ式ダム 一ツ瀬ダム

キャットウォーク 特別歩行体験 & ドローンによる記念撮影!

天ヶ瀬ダム・高山ダム特別見学と道の駅 お茶の京都みなみやましろ村でお買物

旅行代金: 大人お一人様 6,800円 / 小児お一人様 6,300円

出発日: 8/24(金), 31(金) / 9/5(水), 8(土), 9(日)

出発時間: 8:40 (松井山) / 8:05 (京都駅) / 8:40 (八条口)

水源地を使った地域振興イベント

ダム見学ツアー

国土交通省から「ダムを見に行こう」というPDFパンフレットが各季節ごとに年4回発行されている。ここでは、その時見頃なダムの紹介や、民間などが主催するダムツアーが掲載されている。また、そのサイトにはダムで開催されるイベント一覧もある。

パンフレット

- Vol.25「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 7.84MB) H31.03発刊NEW
- Vol.24「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 8.70MB) H30.12発刊
- Vol.23「ダムを見に行こう」(秋号) | (PDF: 4.45MB) H30.09発刊
- Vol.22「ダムを見に行こう」(夏号) | (PDF: 9.54MB) H30.07発刊
- Vol.21「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 1.88MB) H30.03発刊
- Vol.20「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 1.82MB) H29.12発刊
- Vol.19「ダムを見に行こう」(秋号) | (PDF: 3.29MB) H29.10発刊
- Vol.18「ダムを見に行こう」(夏号) | (PDF: 2.53MB) H29.7発刊
- Vol.17「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 2.65MB) H29.3発刊
- Vol.16「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 2.65MB) H28.12発刊
- Vol.15「ダムを見に行こう」(秋号) | (PDF: 2.89MB) H28.9発刊
- Vol.14「ダムを見に行こう」(夏号) | (PDF: 3.72MB) H28.6発刊
- Vol.13「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 3.39MB) H28.3発刊
- Vol.12「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 3.92MB) H27.12発刊
- Vol.11「ダムを見に行こう」(秋号) | (PDF: 3.07MB) H27.10発刊
- Vol.10「ダムを見に行こう」(夏号) | (PDF: 3.25MB) H27.7発刊
- Vol.9「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 2.64MB) H27.3発刊
- Vol.8「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 3.14MB) H26.12発刊
- Vol.7「ダムを見に行こう」(秋号) | (PDF: 3.14MB) H26.10発刊
- Vol.6「ダムを見に行こう」(夏号) | (PDF: 4.30MB) H26.7発刊
- Vol.5「ダムを見に行こう」(春号) | (PDF: 1.68MB) H26.3発刊
- Vol.4「ダムを見に行こう」(冬号) | (PDF: 1.67MB) H25.12発刊

イベント一覧

- ダム前で行われるイベント一覧 | 2019.03 | (PDF: 268KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2018.12 | (PDF: 171KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2018.09 | (PDF: 280KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2018.07 | (PDF: 348KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2018.03 | (PDF: 222KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2017.12 | (PDF: 163KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2017.10 | (PDF: 227KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2017.07 | (PDF: 365KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2017.03 | (PDF: 353KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2016.12 | (PDF: 184KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2016.09 | (PDF: 323KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2016.07 | (PDF: 391KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2016.03 | (PDF: 379KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2016.01 | (PDF: 159KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2015.12 | (PDF: 159KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2015.10 | (PDF: 280KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2015.09 | (PDF: 318KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2015.07 | (PDF: 312KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2015.03 | (PDF: 128KB)
- ダム前で行われるイベント一覧 | 2014.12 | (PDF: 149KB)

国土交通省のウェブサイト

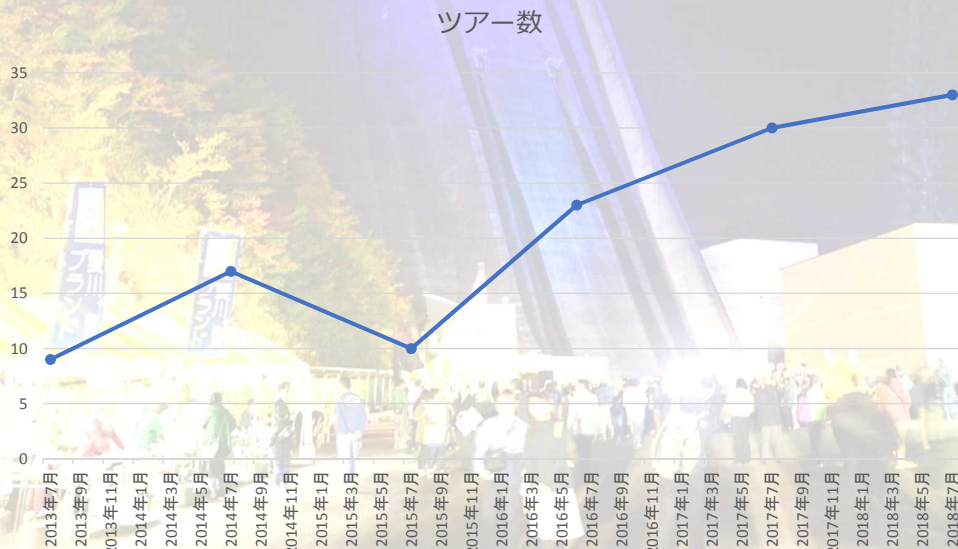
春のダムツアー紹介 | 世界実地中

国土交通省が主催する「ダムを見に行こう」の春号2019の表紙と、その内容の一部。表紙には「ダムを見に行こう 春と春の日の出〜今しがみられない夕日の旅」とあり、小石原川ダム(福岡県)、常呂ダム(奈良県)などが紹介されている。また、「春の建設ダム特集」や「日の出の美しいダム特集」のページも一部表示されている。

水源地を使った地域振興イベント

ダム見学ツアー

2013年7月に発行された「ダムを見に行こう」Vol.2から、最新刊のVol.25に掲載されたダムツアー数のグラフ。季節変動があるので夏号のみをプロットしたが、毎年、数が増えていることがわかる。



ただし、この数は国土交通省は把握しているもののみで、実際はこの2倍以上多い。

水源地を使った地域振興イベント

ダムライトアップ

近年、ダムをライトアップするイベントが増えている。ダムをライトアップすることで、地元への宿泊を促し、滞在時間を長くできるメリットがある。それにより、見学客の消費額をあげることができ、宿泊業・サービス業などの収益がアップする。ライトアップは年に数回しかおこなわれない現状があるが、希少価値を保ちつつ、実施回数を増やせば、それなりに認知度があがり、口コミによる宣伝効果が出ると考える。



写真:長野県

写真:国土交通省

愛川町にある宮ヶ瀬ダムでは、毎年1回ライトアップ放流をおこなっている。昨年は、800名募集のところ、2,700名の応募があった。

伊那市にある高遠ダムは、桜の季節になるとライトアップをおこなう。高遠桜で有名な地。

青森県西目屋村にある津軽ダムでは、時折ライトアップをおこなうことでマスメディアに取り上げられている。

水源地を使った地域振興イベント

ダム放流

今や全国各地のダムでおこなわれており、多くの見学客を呼んでいる。ダム管理者のみで企画されている場合もあれば、地域の民間組織を巻き込んでおこなわれている放流イベントもある。大規模なダムでは、ダムサイトに屋台が立ち並んだり、ホテルの宿泊プランまである。

利根川上流にある矢木沢ダム・奈良俣ダム・藤原ダム点検放流のチラシ

矢木沢ダム・奈良俣ダム・藤原ダム点検



矢木沢ダム・奈良俣ダム・藤原ダム点検





地元民によるダムガイドの会もある



みなかみ町に移住する案内所も開設



放流会場へのシャトルバスの様子



ぐんまちゃんも応援にかけつけた



水源地を使った地域振興イベント

ボルダリング

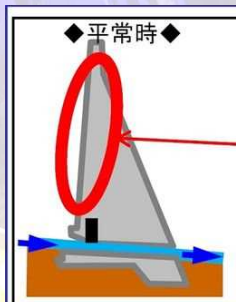
外国のダムではダム壁面を登れる施設がある。令和元年現在、国内のダムにはこの様な施設はないが、建設中の足羽川ダムと横瀬川ダムはこの設備を設置することが決定している。

設置予定のダム

- ・足羽川ダム（福井県）
- ・横瀬川ダム（高知県）



写真：ひろげる.コム！



ボルダリング
(イメージ図)



ダム完成後

平常時に水が貯まっていないことを利用し、ダム堤体の上流面をクライミングコースに活用などについて検討中。

図：国土交通省

ダム見学はどちらかというと、文科系的な範疇だが、ボルダリングなどの体育会系の施設を設置することによって、新たな集客を期待することができる。

水源地を使った地域振興イベント

水陸両用バス

ダム周遊道路とダム湖を巡回。その後、ダムの内部見学をおこなう3,000円ほどの有料ツアーバス。近年、このバスを導入するダムが多くなってきているが、デメリットとしては初期費用が高額。



写真：おんせんニュース

- ・湯西川ダム、川治ダム（栃木県）
- ・津軽ダム（青森県）
- ・八ッ場ダム（群馬県） 予定

国内では川治ダムが初だったが、その後各地に展開し現在に至る。川治ダムで成功し、十分収益が得られるという事実が確認できる。



写真：道の駅湯西川

水源地を使った地域振興イベント

水陸両用バス



また、水陸両用バスで走行&航行するだけではなく、ダム内部見学をコースに組み入れて、見学価値を高める工夫かなされている。

なお、ダム内部見学には通常必要なダム管理者は立ち会っておらず、民間の手だけで事足りる工夫がされている。

写真：桐生人ポコの行った食べた泊まった旅ログ食べログ



水源地を使った地域振興イベント

バンジージャンプ

ダム湖や近隣の橋を利用してバンジージャンプができる施設が急増している。
料金は16,000円ほど。

- ・竜神ダム（茨城県）
- ・八ッ場ダム（群馬県）

写真：アクティビティジャパン



写真：朝日新聞

八ッ場貯水池にかかる八ッ場大橋にバンジージャンプの設備がある。皮肉にも、八ッ場ダム建設中止で有名になった橋。



写真：観光いばらき

竜神ダム貯水池にかかる吊橋にバンジージャンプの設備がある。

観光化を促す施設やイベント → 観光客が増える

林業からレジャー産業・サービス業への転換

サービス業等が儲かる

雇用が増える

ということで、

人口が増える

ダム水源地の観光地化を
推し進めてみてはいかがでしょうか？

税収が増える

水源地を利用した、林業からサービス業への転換成功事例があるかどうかはわかりませんが、これも自治体が生き残るための一つの方法だと考えております。